



グリーンスローモビリティによる交通事故について（報告）

令和4年11月2日午後2時50分頃、小金原公園付近で小金原地区に導入したグリーンスローモビリティ（以下「グリスロ」）による交通事故が発生しましたので報告します。

●発生日時・場所

令和4年11月2日（水）午後2時50分頃
松戸市小金原6丁目3（小金原公園付近）

●運転者

小金原地域在住 75歳 男性（同乗者あり：グリスロ運転手6名）

●被害者

市内在住 67歳 女性（同乗者なし）

●事故の経緯

11月2日（水）

14時50分頃

- ・グリスロ運転手の習熟度の向上と、運行コースの再確認のため、市道を走行中、小金原公園付近の交差点を赤信号で停車中の軽自動車に後方から追突した。
- ・被害者が運転する軽自動車はリアゲート錠、リアバンパー等を損傷
- ・グリスロ（タジマ NA0-8J）は、フロントガラス、フロントグリルを破損。運転手に怪我は無い。
- ・被害者は夜間救急病院にて受診

11月4日（金）

被害者は改めて病院受診し、頸部・両肩等1週間程度の加療を要するとの診断を受ける

●事故原因

アクセルとブレーキの踏み間違え

●任意保険

保険の加入者は松戸市



やさシティ、まつど。
matsudo

●当面の対応

2地域と協議し、以下のことを徹底する。

- ・緊急時対応マニュアルを作成し、実地訓練を行う
- ・運転手の習熟度が上がるまで、乗客を乗せない
- ・助手席に補助者を同乗させる。

●再発防止策

メーカーと協議し、以下のことを検討する。

- ・アクセルとブレーキの構造改善
- ・踏み間違え防止、追突防止装置

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市福祉長寿部グリーンスローモビリティ担当：中沢

松戸市福祉長寿部地域包括ケア推進課：川鍋・斉藤・石井・松本

☎047-702-3652 FAX047-366-7748

✉ mckaigoyobou@city.matsudo.chiba.jp



<別紙 参考資料>

1. 運転手講習会の実施

メーカーの安全運転講習を受けた職員4名（インストラクター1名、アシスタント3名）が地域運転手講習会を実施

受講資格者 普段から自動車運転をしている方

日時 令和4年10月3日（月）・10日（月）午前中

場所 松戸中央自動車学校

内容 座学（本市作成のドライバー講習テキスト、警察署からの運転上の諸注意）、実車 ※実際の運転に際しては、地域の互助であることから地域・運転手・利用者が不安を感じる方は遠慮してもらうことになっていました。

2. 運転手登録者

平均年齢62.9歳（河原塚61.7歳、小金原63.2歳）

最年少：24歳、最高齢：85歳

区分		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	計
河原塚	女性		2			3	1						6
	男性		1		2	1	1	2	3	4	1		15
	小計		3		2	4	2	2	3	4	1		21
小金原	女性			1	3	2	2	1					9
	男性		1	3	9	6	2	10	13	14	3	1	62
	小計		1	4	12	8	4	11	13	14	3	1	71
計	女性		2	1	3	5	3	1					15
	男性		2	3	11	7	3	12	16	18	4	1	77
	合計		4	4	14	12	6	13	16	18	4	1	92

※受講者のうち、高齢者は地域・ご自身の判断で仕組みを知り補助者として協力したい人も含まれています。）



緊急時対応マニュアル

普段乗りなれた車両と異なることから、緊急時の停止について方法を各自実地確認の上、習得し、運転すること。

1. 補助者の同乗

当分の間、助手席に補助者を同乗せさせること

2. 追突防止の予防

普通自動車の速度と停止距離の目安

時速	停止距離	空走距離	制動距離
20km	9m	6m	3m

上記のことから、停止したい15m手前からブレーキをかけて、早目に停止すること。(車両3・4台分の間隔)



3. 緊急時の措置

運転者と補助者は協力して、緊急時の対応に当たること

- 使用している車両には、動力遮断スイッチが付いています。緊急時に押すと動力が遮断され、アクセルを踏んでいても推進力がなくなり止まります。

<インストルメントパネル>



- ドライブレンジの助手席側にサイドブレーキが付いています。非常時にはサイドブレーキを強く引っ張ると推進力が弱まります。



※上記の緊急時の措置を行った場合、後方のブレーキランプは点灯しません。